

アンダーアームクラッチ 取扱説明書

この度は、当杖をお買い求め下さいまして誠にありがとうございます。

下記の取扱説明をお読みくださいまして、正しく御愛用くださいますようお願い申し上げます。

☆この取扱説明書は大切に保存してください。☆

【特徴】

丈夫なアルミ軽合金製で安心してご使用いただけます。

全長の調整はボタン伸縮型で簡単に調節できます。

【寸法調整の方法】

全長

プッシュボタン(高さ調整ボタン)式による高さ調整が可能です。

1. 伸展棒の高さ調整ボタンを指で強く押し込みながら伸展棒を抜き差しして高さ調整をします。
2. 希望の高さに調整したら、高さ調整ボタンが支柱側面からきちんと突出したことを確認します。

脇下

プッシュボタン(高さ調整ボタン)式による高さ調整が可能です。

1. 伸展棒の高さ調整ボタンを指で強く押し込みながら伸展棒を抜き差しして高さ調整をします。
2. 希望の高さに調整したら、高さ調整ボタンが支柱側面からきちんと突出したことを確認します。

【正しい寸法の決め方】

- ◆ 杖は、支柱が後方に、握り先端が前方になるように使用します。
- ◆ 杖は裏面図1・2の様なフィッティングポジションにて調整します。
- ◆ まず、利用者が真っ直ぐ立った状態で杖に先ゴムを装着し、脇下に直接枕が触れないよう約5cm位空く様に全長を調整します。裏面図1参照
- ◆ 次に、握りの位置を肘がやや曲る程度に調整します。調整後の姿勢として、図2の様に爪先外側前方に杖先を置いて、やや前屈みになるような姿勢(突立ってしまわない様に)になる様に調整してください。

【製品の規格】

握り下：66.5～89.4cm 脇下：34.5～47cm 重量：約800g 寸法規格の数値はロットにより多少前後します。
交換用先ゴムの内径 22mmφ(要座金) 利用者の体重の上限 約100Kg 標準の耐用年数 4年 原産国：台湾



【使用上の注意】

- ◆ 上記【正しい寸法の決め方】を参考に身体に合った寸法で御使用ください。
- ◆ 不適当な寸法の杖を使用すると、正しく歩行できないばかりか、体に不都合が生じる場合がありますので、歩行並びに取扱いには医師及び専門のアドバイザーの指導に従ってください。
- ◆ 杖の部品に破損、ひび割れや割れが出た場合は廃棄して新しいものを使用してください。
- ◆ 使用前・使用中も高さ調整ボタンが支柱側面からきちんと突出していることを確認して歩行してください。
- ◆ 使用に当っては各高さ調整ボタンがきちんと突出して伸展棒がきちん固定されている事を確認してから使用してください。
- ◆ 伸展棒用ブレ止めが支柱から抜けている場合はパイプに傷が付きやすくなりますので支柱にはめ込んでください。
- ◆ 脇枕用の布カバーをクッションの上に覆い掛けて使用してください。布カバーの紐を絞って布カバーが脱げないようにしてください。
- ◆ 杖の先ゴムはきちん装着して使用してください。
- ◆ 先ゴムは消耗品です。先ゴムの耐久度は、利用者、歩行条件、床面・路面等により変化します。磨耗して底面の溝が浅くなったり、割れ・欠けが発生している場合は、正しいサイズの新しい先ゴムを装着してください。
- ◆ 濡れたりして滑りやすい床面、路面を歩行する場合は充分気を付けて歩行してください。
- ◆ 濡れ面を歩行すると、ゴムの跡形が床面に付着する場合がありますので注意してください。
- ◆ 先ゴムには油を付けないようにしてください。先ゴムが油で溶けたり変形したりすることがあります。
- ◆ 握りや肘受けは60℃以上の温度で荷重が掛かると変形することがありますので夏場の自動車内に置いて直ぐの使用等にはご注意ください。又、暖房器具のそばに置かないこと。
- ◆ 貸し出しされる場合は特に安全を確認しフィッティングに留意してください。
- ◆ 杖の標準的な耐用年数は使用開始から約4年です。
- ◆ 用途以外(登山・護身用等)に使用しないでください。
- ◆ 1人専用が望ましい使用方法ですが、貸与等される場合は使用者自身の始業点検と、貸与業者の定期点検を怠らないように使用してください。
- ◆ 使用後の手入れは、汚れを落とし、乾燥させてきれいに清掃してしまってください。但し、長時間使用しない場合は、高温直射日光を避けて保管してください。

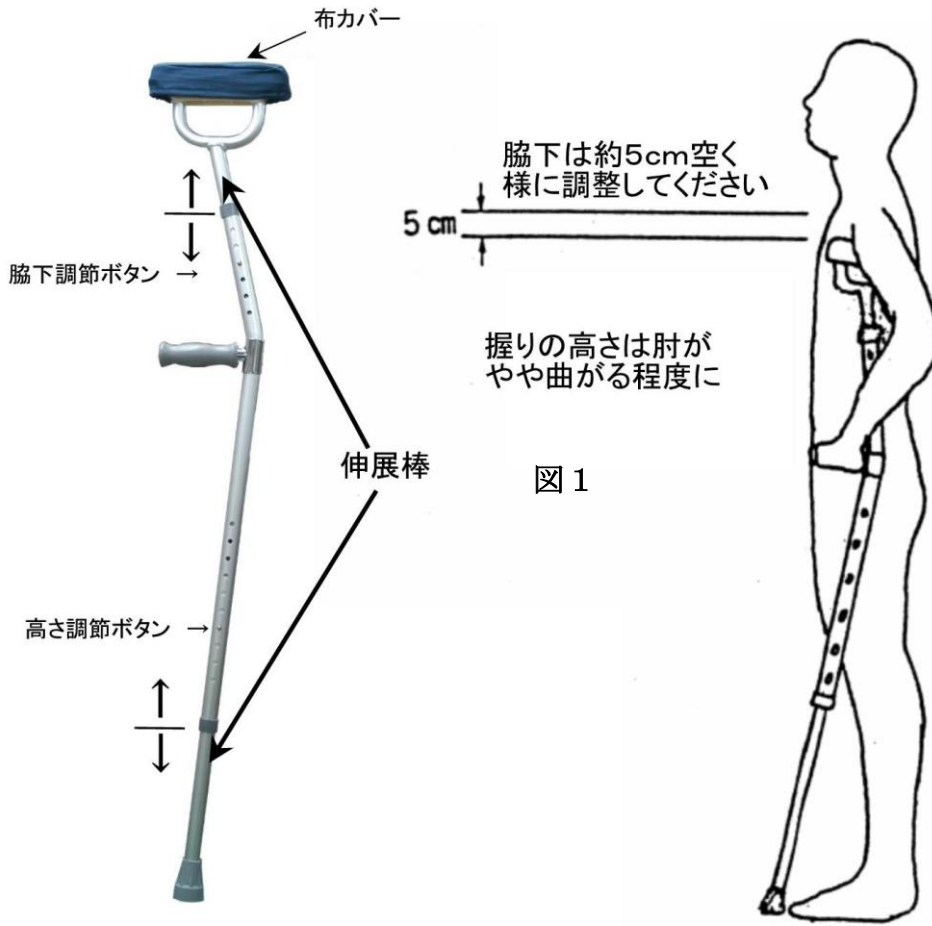


図 1

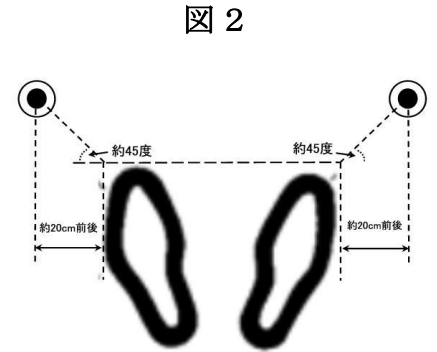


図 2

株式会社 赤 井

〒558-0011 大阪市住吉区菟田8丁目11番19号
お問い合わせ、御相談はお客様相談室 06-6608-0562